

遺伝カウンセラーの育成を推進し 本学から「地域格差ゼロ」を目指す

研究科長就任のごあいさつ

2025年4月に研究科長を拝命しました。正直、うれしさよりも責任の大きさを噛みしめています。静岡県民の皆さんと本学の双方に貢献できるよう、任期の2年間は全力で走り抜きたいと思います。

現在の研究を行うきっかけ

大学卒業後に内科医を志し、研修で尿崩症の患者さんを診た際、ホルモン遺伝子のわずかな塩基変異が重篤な症状を招く事実衝撃を受けました。その後も内分泌疾患の診療で遺伝病の症例に度々遭遇し、ホルモンの働きを追ううち原因遺伝子へたどり着いて「ここを解けば未来の医療が動く」と確信したのです。以来、遺伝子研究に没頭して取り組んできた経験が、今の私の礎です。

当時は「遺伝の知識が臨床で本当に役立つのか?」という疑問もありましたが、この数年で状況は劇的に変化しました。今やがん診療をはじめ多くの疾患で遺伝情報が不可欠となり、若い頃には想像もしなかった新しい景色が臨床現場に広がっています。

遺伝カウンセラーの育成に注力

日本には遺伝カウンセラーがまだ約500人しかおらず、都市部に偏在しています。このままでは住む場所で医療の質が変わってしまいかねません。本学では養成コースを立ち上げており、専門職を地域に送り出すことで「遺伝

静岡社会健康医学大学院大学
博士(医学)

臼井 健 教授

研究分野 ゲノム医学・臨床遺伝学

本学では、精密医療実現のためのゲノム医療の推進及び遺伝カウンセリングを含む遺伝診療の果たす役割に関する研究指導を行う。



医療の地域格差ゼロ」を実現したいと考えています。

パブリックヘルスの未来像

今、ゲノム情報や大規模コホートデータに生成AIを掛け合わせる試みに大きな期待を寄せています。AIが既成概念に縛られずパターンを抽出すれば、従来の定石ではたどり着けなかった意外な関連や病態メカニズムが浮かび上がるはず。その「思いがけない答え」が視野を一気に広げ、研究と医療を次のステージへ押し上げてくれる。そして、多分野の学生たちが同じキャンパスで議論を重ねることで、こうした発見が化学反応のように連鎖していく未来を描いています。

学生へのメッセージ

本学には医師、保健師、企業人など多彩な仲間が集います。知識や肩書き以上に、ここで築く横のつながりこそが最大の財産です。異なる視点を持つ仲間と協力し、社会の健康課題に挑む。その経験が皆さんの将来を必ず切り拓いてくれると信じています。



静岡社会健康医学大学院大学
SHIZUOKA GRADUATE UNIVERSITY OF PUBLIC HEALTH

本学について

国際社会に貢献する「知と人材の拠点」へ

静岡SPH (School of Public Health)

本学は、2021年に開学した社会健康医学を学べる大学院大学です。公衆衛生学の5領域を基盤とし医療ビッグデータ解析やゲノム医学、オーディオロジー（聴覚言語学）について学ぶことが可能で、県内の医師や看護師、また行政の保健師、管理栄養士などさまざまな職種の方が通っています。



学内NEWS

本学の令和7年度入学式を挙行了しました。

社会経験豊かな20名が、本学で新たな学びへの晴れやかな門出を迎える

春の柔らかな日差しに包まれた2025年4月5日（土）、本学にて令和7年度入学式を挙行了しました。今年度は20代から50代までの幅広い年代の社会人20名（博士前期課程16名、博士後期課程4名）が入学し、会場の空気は期待で満ち満ちていました。

式は開式の辞、入学許可、学長式辞と進行し、来賓として出席された鈴木康友知事、上川陽子衆議院議員、鳥澤由克県議会副議長からは、それぞれ本学と

新入生への激励と期待が述べられ、続いて入学生代表宣誓では参列者からの温かい拍手と共に式場には一体感が広がりました。

本学では、働きながら学ぶ学生を支える柔軟なカリキュラムと、地域に根ざした実践的な学びを提供しています。多様なバックグラウンドを持つ新入生がそれぞれの経験を生かし、地域社会の健康づくりに貢献していく今後の活躍が期待されます。



鈴木康友 知事



上川陽子 衆議院議員



鳥澤由克 県議会副議長

↑ 入学生と全教員による
記念撮影
→ 入学生代表で挨拶する
渡邊真奈美さん

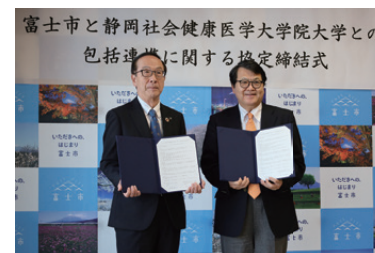
式典後には記念撮影が行われ、新入生同士や教職員との歓談の中で緊張も和らぎ、学びの第一歩を踏み出す決意を新たにしました。

お知らせ

2025年3月

富士市と包括連携協定を締結しました

2025年3月21日、本学と富士市は、それぞれの資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に協力し、地域社会の発展と人材の育成に寄与するため、包括連携協定を締結しました。今後健康づくりにおけるさまざまな事項で連携をしてまいります。



小長井義正 富士市長と宮地良樹 学長



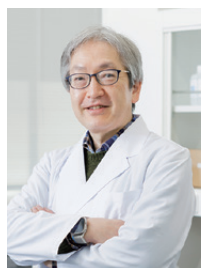
令和7年度新体制 教員紹介

少人数制で未来へつなぐ確かな成長力を育みます！



教授／研究科長
臼井 健
Takeshi Usui

■研究指導のテーマ
精密医療実現のためのゲノム医療の推進及び遺伝カウンセリングを含む遺伝診療の果たす役割に関する研究



教授
木下 和生
Kazuo Kinoshita

■研究指導のテーマ
がんや免疫関連疾患の疫学研究、コホート調査で収集する検体を用いた新規バイオマーカーに関する研究



教授
栗山 長門
Nagato Kuriyama

■研究指導のテーマ
長寿・認知症・生活習慣病・骨粗鬆症の予防に関する研究、健康リスクと関連要因の研究、コホート調査研究



教授
小島原典子
Noriko Kojimahara

■研究指導のテーマ
ガイドライン、システムティックレビュー、携帯電話など電磁界の疫学研究



教授
森 潔
Kiyoshi Mori

■研究指導のテーマ
健康長寿・新しい疾患治療を目的として腎疾患ほかの投薬内容、医療費、疾病重症化リスクに関する研究



教授
山崎 浩司
Hiroshi Yamazaki

■研究指導のテーマ
グループや看取りの死生学／社会学的研究、質的研究方法論（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）



教授／副研究科長
地域・産官学連携本部副部長
山本 精一郎
Seichiro Yamamoto

■研究指導のテーマ
疾患予防や健診受診などの健康行動をいかに促すかについて、現場での普及を念頭に置いた行動科学的研究など



特定教授
橋爪 秀夫
Hideo Hashizume

■研究指導のテーマ
高齢者の健康増進に関する疫学研究。褥瘡発生リスク因子および薬疹・アナフィラキシー発症リスク因子探索



教授
末岡 浩
Kou Sueoka

■研究指導のテーマ
ヒトのゲノム情報が次世代の生命に及ぼす疾患に対する出生前・着床前の遺伝子解析に基づく医療対応を研究



教授
菅原 照
Akira Sugawara

■研究指導のテーマ
生活習慣病の早期発見・早期診断・早期治療介入の推進が日本人の健康寿命延長に関連することについての研究



教授
高木 明
Akira Takagi

■研究指導のテーマ
新生児スクリーニングにより発見された聴覚児の早期の人工内耳手術から引き続く適切な介入による音声言語発達の変容に関する研究



教授
高山 智子
Tomoko Takayama

■研究指導のテーマ
医療の質、組織コミュニケーション、当事者の経験、持続可能な医療関連サービス等に関する研究



准教授
森 寛子
Hiroko Mori

■研究指導のテーマ
質的・量的研究法により、地域の健康弱者や介護提供の課題、政策評価やケアに関連する価値観の分析



講師
佐々木 八十子
Hatoko Sasaki

■研究指導のテーマ
子どもと親の健康やQOLに関する研究、医療ケアの質向上のためのコミュニケーション・組織のあり方に関する研究



講師
佐藤 洋子
Yoko Sato

■研究指導のテーマ
医療ビッグデータを用いた観票疫学研究（因果推論、予測モデル構築など）、歯科・口腔衛生に関する疫学研究



講師
八田 太一
Taichi Hatta

■研究指導のテーマ
混合研究法、研究倫理。倫理的・法的・社会的課題に関する調査全般（質問紙、インタビュー、参与観察など）



教授
竹内 正人
Masato Takeuchi

■研究指導のテーマ
SKDBなどの大規模医療データを用いた疫学研究（臨床疫学、薬剤疫学など）



教授／図書館長
田原 康玄
Yasuharu Tabara

■研究指導のテーマ
生活習慣病・循環器疾患・フレイルのリスク因子の解明と予防・介入方法に関する疫学研究



教授
古川 茂人
Shigeto Furukawa

■研究指導のテーマ
聴覚知覚メカニズムとその発達過程の評価・解明に関する心理物理学・神経生理学研究



教授
堀内 泰江
Yasue Horuchi

■研究指導のテーマ
遺伝医療の推進、遺伝カウンセリングの質向上に関する研究。精神疾患病態解明に関する分子疫学研究



講師
Fehérvári Tamás David
フェーヘルヴァーリ
タマーシュ・ダービドゥー

■主な担当授業科目
言語・聴覚学特別演習

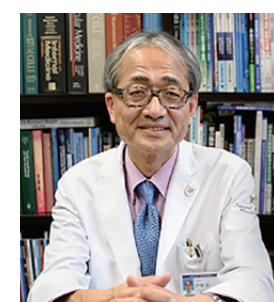


特定助教
松浦 杏美
Anmi Matsuura

■研究指導のテーマ
褥瘡のリスク因子探索および予防策の開発、爪白癬と大腿骨近位部骨折の関連性に関する疫学研究



副理事長
中山 健夫 Takeo Nakayama



副理事長
伊藤 裕 Hiroshi Ito

令和7年度 大学関連行事／年間スケジュール

| | | | | | |
|----|--------|-------------------|----|--------|-------------------|
| 7月 | 5日（土） | オープンキャンパスミニ | 8月 | 30日（土） | オープンキャンパスミニ |
| | 17日（木） | 社会健康医学研究成果報告会 | | | 入学希望者向けWeb説明会（修士） |
| | 18日（金） | 入学希望者向けWeb説明会（修士） | | 20日（土） | 入学希望者向けWeb説明会（博士） |
| | 26日（土） | オープンキャンパス | | 26日（金） | 入学希望者向けWeb説明会（修士） |

| | | | | | |
|-----|-------------------|----------------------------|-----|-------------|--------|
| 10月 | | （仮称）県民健康講演会 | 11月 | 8日（土）・9日（日） | 入試（修士） |
| | 29日（水）～ 31日（金） | 第84回 日本公衆衛生学会総会 （静岡県開催） | | | |

| | | | |
|--------|-----|--------|--------------|
| 令和8年3月 | 11月 | 30日（日） | 入試（博士） |
| | 12月 | 中旬頃 | 静岡社会健康医学セミナー |
| | | 上旬頃 | 公開講座 |
| | | 28日（土） | 学位記授与式 |